仕様書

１．件　　名：多項目自動血球分析装置

２．数　　量：一式

３．使用目的：本装置は、実験動物の血液サンプル中に含まれる各種の血球数を自動計測する分析装置である。福島復興支援本部において行われる低線量率γ線照射したマウス、ラットの血球分析を行うために使用する。血液分析は動物の健康状態を把握するための基本情報であり、病因の解析に欠かせないものである。また、放射線を全身照射する実験であることから白血病等の血液系疾患が発生すると見込まれ、その診断のためにも血球分析が必要である。

４．納入期限：　平成　２５　年　３月　２９　日

５．納品場所：低線量影響実験棟４階　洗浄室（E-403）

６．仕様・性能

品　名：「多項目自動血球分析装置」

XT-1800iV　シスメックス株式会社製

※または下記詳細仕様を全て満足する同等品。

仕　様

・分析装置本体
・動物対応ソフトウェア
・データ処理 PC
・空圧源
・LCD カラーモニター
・50 検体用サンプラー
・カラーグラフィックプリンタ
・付属品

以下の性能を満たすこと。

①測定項目：血球計数および白血球５分類を含む以下の２４項目以上が測定可能なこと

ＷＢＣ，ＲＢＣ，ＨＧＢ，ＨＣＴ，ＭＣＶ，ＭＣＨ，ＭＣＨＣ，ＰＬＴ，

ＲＤＷ－ＳＤ，ＲＤＷ－ＣＶ，ＰＤＷ，ＭＰＶ，Ｐ－ＬＣＲ，ＰＣＴ、ＮＥＵＴ（％および＃），ＬＹＭＰＨ（％および＃），ＭＯＮＯ（％および＃），ＥＯ（％および＃），ＢＡＳＯ（％および＃）

②検体処理能力：

８０検体／時間以上であること

③測定動物種：以下の動物種について測定可能なこと

ラット、マウス、モルモット、イヌ、ウサギ、サル、ブタ

④所要検体量：以下の検体量で測定可能なこと

マニュアルモード　　８５マイクロリットル

サンプラーモード　　１５０マイクロリットル

キャピラリーモード　　４０マイクロリットル

⑤シアン等の毒物：

使用していないこと

⑥データ解析機能：

Diff スキャッタグラム、ＲＢＣ、ＰＬＴ粒度分析の最適値をマニュアルで設定可能な機能を有すること

⑦測定原理：

白血球分離：半導体レーザーを用いたフローサイトメーター法

赤血球／血小板：シースフローＤＣ検出方式

７．検　査：

納入・据え付け作業完了後、マウスおよびラットの血液を用いた試運転、性能試験等の方法により、当研究所職員が、所定の要件を満たしていることを確認したことをもって検査合格とする。

８．その他：

・設置調整、動作確認を含む

・納品・設置後、取扱説明書に沿って装置の取り扱い説明および、具体的な使用方法や注意点について説明を行うこと。

・取扱説明書は２部以上提出すること。

所属部課名：福島復興支援本部
長期低線量被ばく影響プロジェクト
使用者氏名　　島田　義也